



(右) 玄関は家族用と来客用を設けた。シューズクロークも広くすることで玄関はいつでもスッキリしている。
(左) 家事をしながら子どもを見られるようにアイランド型キッチンを採用。



壁面収納のシステム収納家具キュビオスで収納スペースを確保。オーディオ関係の配線も壁内に収めて、見えなくしている。



節句の飾り物や仏壇を設置するスペースを確保した和室。来客時には、この部屋で接客をしているそう。



Kさん一家。「家づくりは分からないことの連続でしたが、三栖さんのおかげでとても楽しかったです」とご主人。

間取りに関しては、以前の生活の家事動線を大切にすることや、子どもの顔が見えるリビング内階段を組み込むことなどをリクエスト。さらに家長としてご先祖様の供養に必要な和室を加えるなど打ち合わせ回数は15回を超えた。「三栖さんには、家のみならず公的書類の作成から融資関係まで相談に乗ってもらえて本当に助かりました」と元気に走る子どもたちといっしょに笑顔で語っていた。

家づくりに留まらない サポート力も魅力

結婚した当初から、漠然としながら一戸建てを考えていたKさん。奥さんが2人目のお子さんを授かったときに真剣に家づくりを考えだした。「いつか東南海地震があるのが気になったので、とにかく『地震に強い家』にしたかった」と語る。そんな中一番安心できたのが、亀井組の営業、三栖さんから聞いた木と鉄の長所を活かした工法のテクノストラクチャーの話だった。加えて基礎工事や施工に携わる職人などについて聞いているうちに「亀井組の三栖さんが言うなら間違いない」と思ったそう。

未来に備え 安心と安全を考えた家

◆ 鳴門市・K様邸

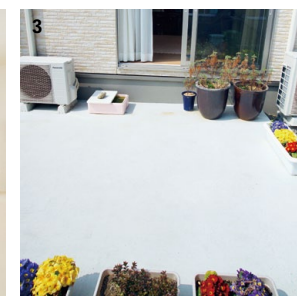
付加価値の高いサービスで 家づくりを支え続ける 亀井組 住宅部



2人のお子さんが元気に遊べる芝生スペース。姉弟のお気に入りの場所の一つ。



「一戸建てになって、子どもが元気に前向きになってきましたね」と奥さん。



1. 白色を基調とした壁、濃い茶色の扉、フローリングの床など好みでセレクトしていった。
2. 広めにスペースをとったキッチン。収納スペースもたっぷり。3. LDKからすぐ出たところにBBQなどをするスペースを確保。



「とにかく1階は家族と過ごすスペースにしたかった」とのこと。



鯉のぼりを建てられる土台を組み込んだ広い駐車場。



階段下はお嬢さんの大好きな遊び場に。もう一方のスペースは収納場所として利用。

子どもが元気に育つように 家族愛から始まった家づくり

◆藍住町・M様邸

「いつかは一戸建てで、子どもをのびのび育てたいと思っていた」と語り、奥さんが一戸建てをイメージしたのと同時期になんとご主人も検討を始めていた。すぐに2人で話を進め、奥さんの実家横のスペースに家を建てることを決めた。そして「まずは地震に強いテクノストラクチャーの家を見に行こう」と最初に見学に行ったのが亀井組のモデルハウスだった。「その時お会いしたのが三栖さんでした。とにかく対応が丁寧だったし、子どもへの対応が印象的でしたね。なによりも娘から『また(モデ

ルハウスに)遊びに行きたい』とリクエストがでたことも大きなポイントでした」。亀井組に決めてからは間取りやキッチンについてリクエストを伝えて微調整を繰り返した。こだわったのは「主人の趣味の釣りで使うアイテムを収納する部屋を確保すること。」「三栖さんも釣り好きなので、家のことよりも釣りの話の方が長かったときもありましたね」と奥さんは笑顔で語る。夫婦のリクエストを実現した家は、今日も家族みんなの笑い声に満ちている。



ご主人の趣味の釣り用具がたっぷりの部屋。「この部屋だけは欲しかった!」とご主人。



釣りが趣味のM様(左)と担当の三栖さん(右)。アフターメンテナンスで伺ったときには釣り話で盛り上がることも多いそう。



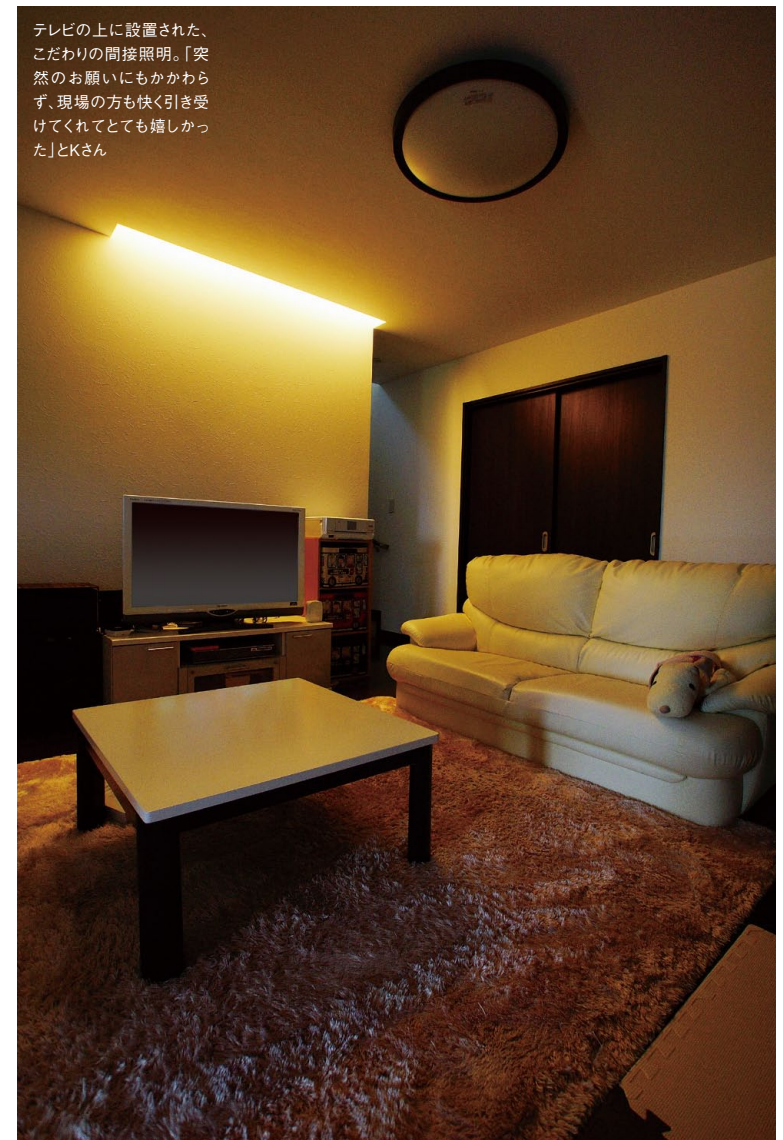
リビングでつろぐKさん一家。
室内の壁は白色に、ドアはすべて濃い茶色に統一している。



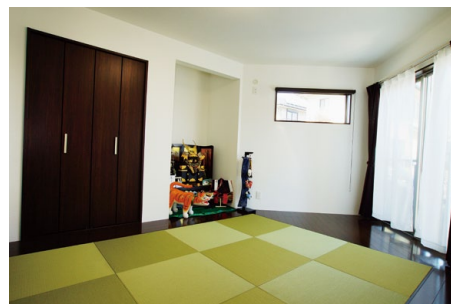
ご主人が趣味の絵を描くためのPCを置いたり本を
おいている屋根裏部屋。



家の防音性が高く「家の前を車を通っても全く気にならないですね。生後5ヶ月の子どもの睡眠が邪魔されないのが嬉しい」と奥さん。



テレビの上に設置された、
こだわりの間接照明。「突
然のお願いにもかかわらず、
現場の方も快く引き受けて
くれてとても嬉しかった」とKさん



三角のコーナーが印象的な和室。節用の飾り物の設置スペースや収納場所もしっかり確保。



Kさん夫婦(左)から「担当が瀬部さんでよかった」と言葉ももらって思わず照れ笑いの瀬部さん(右)。

奥さんの懐妊がきっかけで家づくりを考えだしたKさん。「とりあえず、実際に家を見に行こう！」と住宅展示場やモデルハウスをいくつも見に行った。その中で一番印象的だったのが亀井組のモデルハウス。「間取りの中でも和室に組み込まれた三角スペースが、外観のアクセントになっているのが妻のお気に入りでした」とKさん。そんな間取りの打ち合わせは15回以上回数を重ね、納得行くまで話し込んだ。Kさんは「担当の瀬部さんが家づくりで分からないと

ころをとことん親切に分かりやすく教えてくれたので完成イメージができたのが良かった」とも語る。他にこだわったのが、趣味の絵を描くための屋根裏部屋とLDKのテレビ上に設置した間接照明。中でも間接照明は工事が始まってから急遽追加した部分で「雰囲気があるのすごくカッコよくなると思って、お願いしちゃいました」とKさん。屋根裏部屋はコンパクトなスペースながら、絵を描くためのパソコンやゲーム機も置いて自分好みの部屋に仕上げている。

◆徳島市・K様邸

お気に入りのモデルハウスの魅力を組み込んだマイホーム



モデルハウスと同じような印象に仕上がった外観。また、玄関前には駐車スペースをゆったり確保している。



1. 課長 瀬部 敦士／お客様ご家族の一員となって夢のマイホームづくりにたずさわる事を誇りに「建ててよかった、選んでよかった」と言われることを目標に頑張ります。
2. 係長 三橋 伸一／“住宅営業一筋16年”“亀井組一筋16年”長く信頼を頂く弊社で、お客様と少しでも長く楽しくお付き合いできるよう努力していきます。
3. 主任 岡田 眞治／誰もが安心し、満足いく住まいでみんなが和気あいあいと末永く暮らす。そんな夢と希望に溢れたマイホームづくりを応援します。
4. 住友 万智子／暮らし始めて「家事がとっても便利!」と思っていただけのような、女性目線の家づくりをご提案させていただきます。
5. 田中 浩司／お客様との出会いを大切に、夢や希望の詰まったマイホームのお手伝いを全力でサポートさせていただきます。

本格和風の平屋住宅
終の住処「悠久の住まい」



モデルハウス「悠久の住まい」は、四国産杉と檜を使用した和風住宅。外観は落ち着いた雰囲気。

亀井組のモデルハウス
1日でも長く
快適に暮らせる住まい

一日でも長く快適に暮らせるよう日本家屋の良さを生かし、徳島の風土に適した家作りを目指した「悠久の住まい」。木造建築の経験豊富な職人が確かな目で厳選した地元木材を使い、伝統に培われた技術と最新設備を融合させた高気密高断熱の省エネルギー住宅だ。また、一年を通じて家の中を一定の温度に保つように工夫。夏や冬といった寒暖の厳しい時期に、室温の変化で心臓に大きな負担がかかることで起こるヒートショックの発生を妨げるよう設計されている。また地熱を利用した24時間全熱交換換気システムを採用するなど、数多くの省エネ最新設備が搭載されている。

百余年にわたり培われた技術を次の百年へ。亀井組の住まいづくりを現実にした本格和風住宅「悠久の住まい」。

和風住宅に興味のある方はぜひ一度、実際に体感してみよう。

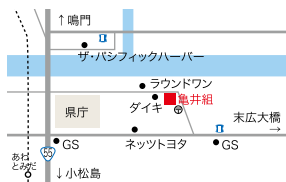


家庭菜園を楽しめる庭を隣接。将来的には駐車場に変更することも可能。

亀井組

0800-200-1447

徳島市万代町6-20-2
朝9時～夜6時
水曜日
<http://kamei-techno.com>



有資格者

- ・一級建築士10名
- ・二級建築士18名
- ・一級建築施工管理技士15名
- ・宅地建物取引主任者6名
- ・インテリアコーディネーター3名
- ・福祉住環境コーディネーター2級6名

メッセージ

1906年の創業以来、私たちは常にお客様に喜んで頂く事だけを考え続けて参りました。私たちが守りたいものは、お客様のご家族様全員の、いつまでも続く笑顔です。技術と人柄が自慢の精鋭スタッフ一同が、お客様の笑顔を守る家づくりに取り組んでいます。



「未来に備えた『悠久の住まい』をぜひご覧ください」と設計・プロデュースした一級建築士の野口専務。



1. 最近少なくなった床の間に加え、落ち着いた空間づくりを実現した和室。
2. 寝室には多目的な洗面台を設置。大容量の収納スペースを確保。
3. 徳島の気候風土にあった四国産の杉をふんだんに使用することで、どこか懐かしい、居心地の良いリビングが実現されている。